



平成二十年の県内の出初め式

本年最初の消防訓練である「出初め式」が、一月四日から六日にかけて県内各地で様々な趣向をこらして行われたので、その状況を紹介する。

鹿角市

一月四日、鹿角市記念スポーツセンターで無火災祈願・消防功労者表彰を、花輪商店街で観閲・恒例のまとい振り・餅まきを行った後、消防団員ら八百三十名、消防車両五十二台のパレードが行われた。

なお、当日は、鹿角市消防団第十二分団が保存している県内最古の消防ポンプ車「ダッチ」(一九三七年製)が十四年ぶりに出動し、市民の盛んな歓声を受けた。



大館市

一月五日、大館・比内・田代の消防団員ら計八百五十名が参集し、大館神明社に無火災祈願を行った後、街頭行進を行い、大

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中 泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760



町中央通りで小畑市長らの観閲を受け、二十四本のまとい振りが披露された。その後、市文化会館では表彰式が行われた。

北秋田市

一月四日、市森吉支所前で消防団員ら六百六十名、消防車両二十台によるパレードを行い、寺田知事、岸部市長らの観閲を受けた。その後の式典では寺田知事から昨年九月の豪雨で



の地元消防活動に対して感謝の言葉があった。このほか、永年勤続者表彰などが行われた。

能代市

一月五日、能代地区が能代市で、二ツ井地区は二ツ井で、それぞれ行った。能代地区では、消防団員ら四百三十名が畠町通りに参集し、武田副市長らの観閲の後、伝統のまとい振りを披露して行進した。市文化会館の式典では、消防功労者の表彰などが行われた。



男鹿市

一月六日、船川港船川に消防団員と男鹿テクノの特設消防団員合わせて五百三十名が参集し、高所放水車、大型化学車とともにパレードを行い、佐藤市長



平成十九年度全国統一防火標語
「火は見てる
あなたが離れる
その時を」

潟上市

一月四日、天王町総合体育館に消防団員ら四百二十名が参集して防火・防災を市民に呼びかけた。式典では天王、飯田川、昭和の三十分団が団旗を先頭に入場行進し、消防功労者の表彰などが行われた。



五城目町

一月四日、朝市駐車場に消防職・団員百九十五名が参集し、渡邊町長らの観閲を受けた後、町内行進した。途中、下夕町朝市通りで分列行進を行い、式典会場まで無火災祈願をしながらパレードした。その後、広域五城目体育館で表彰状伝達式が行われた。



秋 田 市

一月六日、山王けやき通りに千百六十八名の消防職・団員が参集し、行進と消防車両四十台のパレードを行い、西村副知事や佐竹市長らの観閲を受けた後、照明電源車やはしご車の模擬出動、消防車両による七色の放水披露で火災予防や災害への備えを呼びかけた。見学に訪れた子ども達には「ミニまとい」をプレゼントした。

その後の秋田市文化会館の式典では消防功労者への表彰状伝達式などが行われた。



由利本荘市

一月五日、市役所前に小友保育園児三十五名のほか、消防職・団員八百名が参集し、くす玉割り、餅まきを行い、一年の無火災を祈願した。一行は、柳田市長らの観閲を受けた後、本荘市文化会館で式典を行い、消防活動に貢献した消防職・団員を表彰した。



にかほ市

一月五日、金浦体育館に消防団員ら三百六十名が参集して行われた。

横山市長の挨拶、板垣団長の訓示の後、消防活動者への表彰、今年の無火災、無災害を祈願して市消防本部纏振り振興会によるまとい振りが行われた。



大 仙 市

一月五日、大曲市民文化会館前に消防団員ら九二七名が参集し、栗林市長らの観閲の後、同会館まで行進した。その後の式典では、まとい振りや太鼓演奏の披露、表彰式が行われた。



仙 北 市

一月六日、田沢湖生保内の市民会館に消防団員ら五百五十三名が参集し、石黒市長らの観閲を受けた。

その後の式典で、石黒市



長が昨年の豪雨での団員の活動をねぎらうとともに、今後の精進についてのお願いをした。また、消防活動に対する表彰も行われた。

美 郷 町

一月四日、総合体育館リオス前駐車場において、消防団員三百十九名が参加して、観閲式、分列行進を行った後、仙南体育館で式典を開催し、同日未明発生した火災により、一名の尊い命が奪われたのを踏まえ、決意も新たに防火防災の充実を誓い合った。



横 手 市

一月六日、横手市けやき通りで八分団から四百名が参集、五十嵐市長らの観閲の後、横手市民会館まで行進した。

式典では、表彰、五十嵐市長の式辞、加賀谷団長の訓示があった。

このほか、四日から六日にかけて七消防団毎の出初め式がそれぞれの地区で行われた。



湯 沢 市

一月五日、湯沢市文化会館に十五分団から約千二百名が参加して、永年勤続者への表彰状伝達などが行われた後、文化会館駐車場で観閲行進が行われ、団員は防災への意識を新たにしました。



新消防団長紹介

横手市平鹿消防団

団長 齋 藤 喜代美 (さいとうきよみ)



昭和二十三年七月一日生まれ (五十九歳)

昭和四十四年一月一日平鹿町消防団に入団。班長・本部長・部長・本部長・副分団長を経て、平成十一年一月一日分団長、平成十六年一月一日副団長、平成十七年十月一日市町村合併により横手市平鹿消防団副団長、平成二十年一月一日横手市平鹿消防団長に就任。(農業)

平成19年度 小中学生防火ポスターコンクール審査結果発表 ポスター化により応募数増加

少年少女の防火意識を高めるとともに、県民の防火思想の普及向上を目的として、秋田県、財団法人秋田県消防協会の主催で実施してきた「小中学生防火ポスターコンクール」は、第一回の昭和四十五年から数えて本年度で三十八回となる。

一昨年より優秀作品一点をポスターとして四、〇〇〇枚作製し、県内小中学校、消防機関に配布したことなどにより応募数が伸びてきている。

本年度は、県内二十六校から三百三十九点の応募があり、一月十六日に秋田県庁で審査を行い、入賞作品三十二点と中学生の部で一席となった横手市立雄物川中学校二年生の佐藤千波椰さんの作品を防火ポスター作製用として採用することを決定した。

また、全入賞作品を県内の小中学生に見てもらうため、由利本荘市の秋田県消防学校に隣接する「防災センター」に一年間展示することとしている。

審査員は次の四名である。

- 審査員 聖園学園短期大学 准教授 小笠原京子氏
- 審査員 秋田魁新報社文化部 部長 鏝 隆千代氏
- 審査員 秋田県知事公室総合防災課 課長 藤井 英雄氏
- 審査員 秋田県消防協会 会長 中泉松之助

審査長の概評

○平成十九年度全国統一防火標語「火は見る あなたがはなれる その時を」を主要テーマとして、小中学生らしい感性で、身近な生活の中から火災の怖ろしさを力強く訴えた作品が多く見られた。

【小学生の部】

○小学生らしく、ストーリーに訴える元気な作品が多かった。絵の具以外の素材の活用など工夫した作品が印象的だった。



藤里町立米田小学校 6年 桂田 茜

二 席



藤里町立米田小学校 1年 加藤 杏奈



由利本荘市立小友小学校 6年 齊藤 主成

【中学生の部】

○豊富なアイデアと練られた構図、テーマに合った表現技法等、力作揃いでレベルの高さを感じた。

一 席



横手市立雄物川中学校 2年 佐藤 千波椰

二 席



秋田市立土崎中学校 2年 杉山 沙樹



美郷町立六郷中学校 1年 籠谷 有結花

三 席



秋田市立桜中学校 2年 青山 泉



能代市立能代第一中学校 1年 佐々木 柚乃

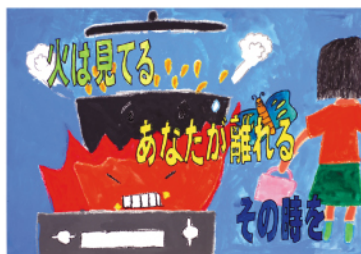


秋田県立横手清陵学院中学校 3年 高橋 沙織

三 席



藤里町立藤里小学校 3年 伊藤 絵梨華



藤里町立藤里小学校 6年 小山 真央



にかほ市立平沢小学校 6年 菊地 希美

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) 

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 電話(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 電話(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンバイホース
トーハツポンプ	シバラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651